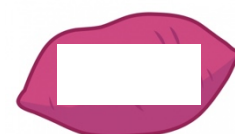
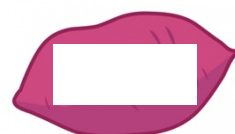
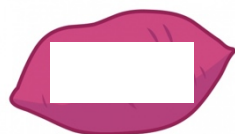
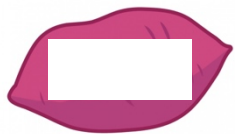


【調べイモ】



今回みんなにつけてほしいのが、物事をより広く深く理解する上で欠かせない“調べるチカラ”。

大切なのは、調べたいテーマについて、自分なりの興味を持ち、深く掘り下げていくことだ。知ってるつもりになっていることはとても多い。しっかりと調べて、知識を得ることが大事だ。安易にインターネットに依存するだけでは膨大な情報の海に溺れてしまうぞ。

大事なものは、集めた情報を自分なりに整理し役に立つ知識にすること！それこそ、はじめて「調べた」と言えるのだ。インターネットで調べてみただけだと、表面的な理解にとどまり、うまく人に説明できない。調べる時に、「そのまま使える情報がないか」とネットに頼ってばかりでは、自分で調べたことにはならないぞ。

### ■花道の種 1 :「調べイモ」

「調べイモ」とは物事を広く深く調べることができるツール。まずは調べるテーマを葉っぱに書きだす。続いて、そのテーマについて思いつくことは何でもいいのでキーワードをあげていく。キーワードは簡単でいい。思いつくままに書き出していこう。例えばお正月であれば、『お年玉』『年賀状』『初詣』『サッカーの天皇杯』…とキーワードだけであれば次々出てくるはずだぞ。

### ■花道の種 2「なんで？」でイモを増やせ！…みんながこれからやるのはココ！

それぞれのキーワードに関して、「なんで？」と問いかけてその答えを次のイモに書き込む！

例えば、正月のキーワード『お年玉』。「なんで？」→お年玉って言うのか？

調べると、その昔、お年玉はお金じゃなくお餅を配り餅玉と言っていた、ということがわかったぞ。

このように調べたことを書き、イモを増やしていこう。時には 1 つのキーワードから 2 つ以上のイモが生まれることもあるぞ。また、調べていく中で情報に少しでも疑問を感じたら、鵜呑みにしてはいけない！ さらに別の情報がないか調べることが大切だ！

### ■花道の種 3 :「5W1H」で栄養を与えろ！

「なんで？」という疑問だけでは、イモを増やすのが段々と難しくなってくる。そこで次は「5W1H」を活用して、さまざまな角度から疑問を持とう。

例えば

サンタクロースの場合は「誰？」、「どこの人？」、「いつ生まれたの？」などと考える。早速調べてみると、サンタクロースは 4 世紀頃、貧しい人々にお金を分け与えていたというシリアの司教、聖ニコラウスだということが見えてきた！

### ■花道の種 4 :「一方で」

さらにイモが育つよう、ここで次なる肥料を投入！ ひとつのイモに対して、今度は“一方で”と疑問を投げかけてみる。

例えば、

正月のキーワード『初日の出』。一番早い初日の出を調べたら「一方で一番遅い場所はどこ？」と調べてみよう。「一方で」と問うことは、逆の立場になって視点を改めて考えることにつながるんだ。

最後は「調べイモ」の収穫作業！ 食べられないイモは、取り除こう。食べられないイモとはただ思いついただけで放っておかれ、他のイモとつながっていないバラバラな情報。それらを取り除いて、残ったイモをツルでつながったグループごとに収穫する。そこでは複数の情報がきちんと関連付けられているはずだ。こうして自分だけの確かな知識を手に入れよう！

自分の力で調べたものは、絶対忘れない。どんどん知識がつながって、自分が調べたことがどんどん自分のものになっていくのがすごくわかる！